

## DATA

エリア：国指定小佐渡東部鳥獣保護区  
所在地：新潟県佐渡市  
(小佐渡東部地域)  
事業実施期間：H18～H21

■ 事業完了後の自然再生の  
取りくみ状況

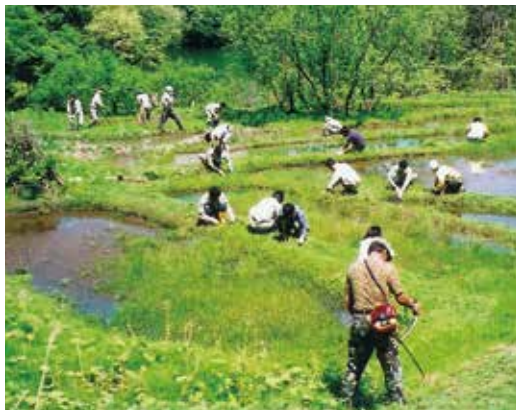
設置したビオトープは現在でも活用され、生物量の増加も見られる。この事業の基本である、トキの保護増殖計画は現在も実施中であり、「トキ野生復帰ロードマップ」で示された「佐渡島内に220羽のトキの定着」の実現に向けて、様々な取り組みが行われています。



トキ「優優」

こ さ ど と う ぶ  
小佐渡東部再生  
目標

トキが野生定着できる自然環境（餌場・営巣・ねぐら）の再生を目指す。



本地域は、野生下で最後までトキが生息していた地域であり、昭和57年から国指定鳥獣保護区特別保護地区に指定されています。

しかし、本地域の棚田は農業就労者の高齢化や農法の効率化等により耕作放棄が進み、里山林は生活様式の変化による手入れ不足等で後輩が進むなど、かつてのトキの餌場・営巣・ねぐら等の生息環境が減少しています。このため、トキの野生復帰に向けて、地域社会との共存を前提とした餌場となる湿地の再生、様々な主体が協働できる仕組みづくりを進めています。

## 自然再生の手法

- ▶ 通年でトキの餌場となる湿地等の整備
- ▶ 地域住民やNPO等の様々な主体が協働する仕組みづくり

## 事業の効果

関連する取り組みを含め事業等により、トキの定着が確認された。また、現在は、市とも連携し、地域住民主体による保全活動を行っています。



水生生物が生息できるように整備したビオトープ



## DATA

エリア：八ヶ岳中信高原国定公園  
所在地：長野県諏訪市、茅野市、  
下諏訪町  
事業実施期間：H20～

■ 事業完了後の自然再生の  
取りくみ状況

協議会で「自然保全再生実施プラン」を策定し、モデル地区を設けて草原や樹叢の保全再生をすすめています。



オオハンゴンソウの駆除

き り が み ね  
霧ヶ峰再生  
目標

昭和30年代の霧ヶ峰高原にみられた草原植生・樹叢（樹林）の再生を目指す。



霧ヶ峰では、標高1,500～1,900mに広大な半自然草原が広がっています。霧ヶ峰の草原は、昭和30年代まで採草地として利用されてきましたが、農業形態の変化等にもなって草原管理が停止され、徐々に森林化などがすすんできました。また、霧ヶ峰は、ニッコウキスゲの群生地としても有名ですが、近年は、ニホンジカの採食影響が危惧されるようになりました。

このため、昭和30年代の霧ヶ峰にみられた植生の再生を目標として、草原・樹叢の保全再生をすすめているほか、貴重な植物等をニホンジカから保護するための植生防護柵の設置をあわせて行っています。

## 自然再生の手法

- ▶ ススキ・ササの刈り取りによる植生再生
- ▶ 外来植物の駆除
- ▶ 防鹿柵の設置による植生の保護

## 事業の効果

事業で整備した防鹿柵により、植生保護効果があらわれた。また現在は、地権者、市町、県が連携し、草原の保全再生活動を行っています。



植生帯と防衛柵の設置状況